千葉市

記者発表資料

千葉開府900年 千の葉に 時を刻んで 900年

令和８年１０月２８日
都市局建築部
住宅政策課
電話　２４５－５８０８

民間事業者と連携した団地活性化モデル事業を実施します
～第１弾　千草台団地「秋まつり」の開催～

千葉市では、市内の高経年住宅団地における居住者の高齢化、人口減少が進展していることから、住宅団地の活性化が喫緊の課題となっており、その対策として若年層の流入促進に取り組んでいるところです。

このたび、団地活性化のさらなる取り組みとして、民間事業者と連携した団地活性化モデル事業を実施しますので、お知らせします。

１　団地活性化モデル事業について

（１）目的

地域で活動する担い手の発掘・育成や団地の魅力発信に向け、民間事業者と連携し、団地内の広場や公園などの共用スペースを活用したワークショップやイベント等の企画を実施します。こうした取り組みを通じて、若年層の流入促進を図り、高経年住宅団地の活性化を目指します。

（２）経緯

令和８年５月　　公募型プロポーザル方式による企画提案募集
令和８年６月　　選考の結果、事業者を株式会社大凧（おおだこ）に決定
令和８年７月～　事業開始

（３）企画の内容

団地活性化を目的とする以下の３つのモデルをそれぞれ異なる団地において実施し、各モデルにおける企画実施時に参加者にアンケート等を行い、事業の効果を測定します。

ア　多世代交流型・屋外共用部活用モデル

自治会が実施するイベントの企画・運営に参画し、団地特有の屋外共用スペースを活用して、若年層を呼び込む企画を実施する。イベントを通じて、多世代交流を生み、団地の魅力を知るきっかけを創出する。

イ　住戸・暮らし方発信モデル

若年層向けにリノベーションされた住戸や団地内の公園・公共施設等の生活環境を巡るツアーの開催等により、若年層に向けた団地に住む魅力を発信する。

ウ　管理組合・自治会連携型モデル

管理組合や自治会等の活動に参画し、団地内の植栽等の屋外共用スペースを活用して、若年層が参加しやすい企画を実施する。活動を通じて、若年層が地域活動に関わるきっかけをつくり、継続的に地域で活動する新たな担い手の発掘につなげる。

２　千草台団地「秋まつり」について

３つのモデルのうち、第１弾として「多世代交流型・屋外共用部活用モデル」を千草台団地において実施します。千草台団地で例年開催されている「秋まつり」と連携し、子どもが楽しめる遊びのコーナー、人工芝を敷いて絵本などを読みながらくつろげるスペース、楽しいステージや各種キッチンカーの出店など、若年層が団地に関心を持ち、訪れ、滞在するきっかけを創出する企画を多数実施します。

（１）日時

令和８年１１月３日（火・祝）１０：００～１５：００　※小雨決行

（２）会場

千草台団地　１丁目集会所前広場（稲毛区千草台１－１）

（３）主催等

主催　千草台団地自治会

共催　株式会社大凧

後援　千葉市